



全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2 番

TEL 072-276-4320

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

2025年 春闘中央討論集会

11月23日(土)サンバレー富士見で開催された2025春闘討論集会に参加してきました。新幹線の大幅な遅れがあり、討論集会の開始予定時間は13時だったのですが、15時頃のスタートになりました。夕食交流会の時間もあり、駆け足で討論集会が始まりました。

開会挨拶では、川路副委員長から2025春闘討論集会の始まりを告げる挨拶がありました。座長挨拶で松澤中央執行委員から「新幹線の遅れもありましたので、より一層スムーズな進行をします」との一言があり、主催者挨拶では足立委員長から「2025春闘に向け、賃金労働条件を良くしていく為に全組合員で、力を合わせ頑張ってください！！」と力強い挨拶がありました。そして、廣瀬書記長から2025春闘方針(第1事案)の提案をしていただきました。ここまで、異例の早さで進んで行きました。

全労連、黒瀬幸一事務局長を講師に迎え学習会をしていただきました。黒瀬事務局長から、今なぜ昔の様にストライキが行われないか？とみんなで話し合い意見交換をする時間を設けてもらったり、仲間と話し合い、知恵を出し合う重要性を学びました。

そして、A班からE班に分かれ、分散、文科会討論が行われました。自分はB班に入り、酸素部会から寿運送、村上さん、長谷川さん、幸栄運輸、相澤さん、大陽液送、東堀が参加しました。村上さん、相澤さんから酸素部会の現状と2025に向けた方針の発言があり、長谷川さんと私から寿運送と大陽液送の職場の現状と春闘に向けた意気込みを発言してもらいました。2時間程で全日程を終了させ、夕食交流会へ進み、各部屋で部屋飲みをし、1日目を終了しました。2日目では、分散分科会の各藩まとめの発言がありました。今後もこのような討論集会に積極的に参加し学習していきたいと思っています。

大陽液送分会 東堀俊

過積載防止行動



11月15日(水)に大陽液送分会太田貨物班の竹村さんと過積載防止行動に参加させていただきました。

街頭宣伝車で大阪市の北部エリアを中心に、過積載過労運転の危険性などを案内する放送をしながら巡回しました。過積載は安全性に問題があるだけでなく、交通公害の原因ともなり得ます。過積載が発覚した場合、ドライバー、事業者、荷主に対しても罰則が課せられます。人員不足や経費等の問題も大きいようですが、命を守り、安全に走行するための法令順守は最優先課題です。

当日の天気は曇りでパラパラと雨も降っていましたが、うめきた公園付近は人の数も多かったと思います。少しでも多くの人にトラック業界の問題について興味をもってもらい、解決につながっていく事を願っています。

この行動に初めて参加させていただきましたが、色々と教えてもらう事もあり、いい経験が出来ました。

大陽液送分会 山之上晃平

全国トラック部会26回総会

2024年11月24日(日)伊豆のサンバレー富士見にて「建交労全国トラック部会26回総会」が開催されました。総会スローガンとして「安全・安心なトラック運輸産業をめざし、大幅賃上げと長時間労働の改善、組織の強化・拡大を実現しよう!」のもと2025年春闘を奮闘すべく全国のなかまが結集しました。参加者44名中、全国酸素部会より10名(幸栄1、大陽3、テーエス2、寿2、大田1、エネックス1)の参加でした。

まず全国トラック部会足立部会長より「労働組合として一番大事なのは要求実現。建交労の要求闘争の中で最前線に行くのはトラックだ。職場をどう変えて、地域、環境をどう変えていくか、建交労トラック部会として1年間何をするのか、どういう方向でいくのか皆で意見を出し合い確認していきたい。」と挨拶がありました。

続き、鈴木事務局長より、2024年度経過報告とまとめ、2025年度活動方針が提案されました。

討論では20名が討論に参加し、多くの職場が人手不足を訴え、組織拡大に奮闘していることなど報告されました。酸素の関係では大陽液送分会穀谷さんから、2名の組織拡大などの分会報告。私から大田貨物班が4年間たたかってきた「大陽液送偽装請負事件」最高裁での上告不受理の報告として、全国の建交労の仲間の支えがあったからこそここまでたたかえたことへの感謝を伝え、多大なる御支援、御協力の御礼をさせていただきました。全国酸素部会村上事務局長からは酸和運送分会の結成報告と職場の現状が報告され、その中で「高速道路を使用した場合、高速料金の20%を自己負担し、また燃料費も20%自己負担しなければならず、走れば走るほど労働時間は長くなるが、高速料金と燃料費が引かれる為、労働時間に対しての給料が減る」や、「残業に見合った時間外手当が支払われないため、36協定締結

をせずに団体交渉をおこなっており、今後もねばり強くたたかっていきます。」と現状報告がなされました。全国酸素部会鷹巣顧問からは「地域合同分会」の結成報告。そして、全国酸素部会相澤部会長からは、全国酸素部会総会や、全国酸素部会での1年間の活動についての報告。テーエス支部小林さんからは東部ネットワークへの株式譲渡や組織拡大などの報告がありました。

そして、建交労全国トラック部会26回総会は全ての議案と総会宣言が満場一致で採択され、足立部会長の団結ガンバローで閉会しました。

大陽液送分会大田貨物班 長谷川達三

2024年も残りわずかとなりました

2024年も残りわずかとなりました。今年は年明け早々に能登地方で大きな地震があり、羽田空港では旅客機の衝突、最近では闇サイトによる強盗事件の多発などあまりいい年ではなかったような気がします。

物流業界においても24年問題に直面しております。4月よりスタートして多くの物流会社は年間残業960時間以内に対し、これまで残業の前食いで達成が困難になり、これからの物流に支障が出るのではないかと新聞に特集記事がありました。物流会社の給与体系は固定給よりも変動給の方が遥かにウエイトが大きい為、残業調整されれば当然走行距離も短くなり給与がダウンします。現役社員に聞いたところ昨年同期よりも給与は下がっていると言っていました。

こういう状況の中で非常に残念なのですが貴重な組合員が一名退職致します。彼とは金川産業でほぼ同時期に入社しエスイーー物流に移り約30年間共に戦ってきました。良き同僚であり戦友でもありました。寂しくなります。私自身も含め残り3名の組合員も年齢的にもそう長くは建交労で活動は出来ないのかなと感傷的になったりもしますが、米田さんや鷹巣さんを見習ってこれからもパワーを持ち続けて頑張りま〜す。

エスイーー物流統合分会 佐藤正幸

